

政策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 政策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	3-3	政策名	生涯学習の推進	政策の 目指す姿	生涯を通して学び、広い視野を 持ち、活動しています	政策 主管課	生涯学習課	政策主管 課長名	藤原 睦
	政策の方針	社会経済情勢の変化への対応や地域課題の解決に向け、市民が生涯を通して学び、広い視野を持ち、活動していくためには、学習や活動のための環境づくりが必要です。 そのために、市民が自主的に生涯学習活動ができるよう支援を行います。また、地域と連携して青少年の自立に向けた育成を推進するほか、国際都市の実現に向け、市民の国際理解の醸成を図ります。								

2 成果指標の達成状況

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	区分	H27 (基準年度)	H29	H30	R1	R5
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合	市民が日ごろから物事に関心を持って自主的な学習活動に取り組んでいる状態を示す指標。増加を目指す。	あなたは、学習活動にどの程度取り組んでいますか。 (1)週に2回以上(2)週に1回程度(3)月に1回程度(4)年に数回程度(5)ほとんど行っていないのうち(5)以外を選択した市民の割合	%	目標値		40	40	40	40
					実績値	36.1	35.3	35.9	-
				目標値					
					実績値			-	
					目標値				
					実績値			-	
達成度	[達成状況に関する背景・要因]								
C	・実績値は微増しているものの、目標値には達していない。 ・「自主的学習の推進」では、かつては講師登録の多かった60代が今では現役の労働者世代であり、講師登録のみならず、受講者数も同様の理由で増加しないのではないかと考えられる。 ・「青少年の社会教育」では、児童・生徒を含む全体的な人口減少に伴い、地域活動／ボランティア活動も縮小／廃止になっているのが要因と考えられる。 ・「国際都市の推進」では、国際交流活動団体・サークルの国際交流センター等での利用の減少がみられるが、インターネット等の普及によって個々の学習環境が整ってきているのが要因と考えられる。								

3 政策に対する各施策の達成度

No.	施策名	成果指標名	H27 (基準年度)	H29			H30			R1		前年実績との比較	達成度
			現状値	目標値	実績値	達成度	目標値	実績値	達成度	目標値	見込み		
1	自主的学習の推進	生涯学習講師新規登録者数	13	14	7	c	14	7	c	14		↑	D
		市民一人当たりの図書貸し出し数	3.6	3.8	3.4	b	3.9	3.5	c	4.0		↑	
2	青少年の社会教育	地域で行われている行事やボランティア活動に、青少年が参加していると思う市民の割合	32.6	36.0	35.1	b	37.0	27.0	c	37.0		↑	D
		青少年の健全育成活動にかかわった市民の割合	22.5	26.0	22.1	c	27.5	20.6	c	29.0		↑	
3	国際都市の推進	海外の姉妹、友好都市との交流など国際交流に関心のある市民の割合	34.8	35.0	36.6	a	35.5	37.3	a	36.0		→	C
		国際交流事業参加者数	4,209	4,200	4,939	a	4,500	4,256	c	4,800		↑	
		国内友好都市交流事業参加者数	430	430	349	c	440	359	c	450		↑	
4													

4 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
C-④	・講座や交流事業への参加者は思うように増加していない。 ・「自主的学習の推進」では、今では60代が現役の労働者世代であることで講師登録者が増加せず、受講者数も同様に増加しないのではないかと懸念している。講師登録者数を増やすため、シニア大学の受講者でありながら指導する方もいて、そうした方に経験を積んでいただき、自信を植え付ける取り組みと、はなまきまナビガイドに告知欄を設けて新規開拓を行う必要がある。 ・「青少年の社会教育」では、児童・生徒を含む全体的な人口減少に伴い、地域活動／ボランティア活動も縮減しているとおもわれることから、コミュニティ会議と連携して青少年が参加しやすいプログラムを構築する必要がある。 ・「国際都市の推進」では、インターネット等の普及で個々の学習環境が整ってきていることにより、国際交流センター等での関係団体等の利用減少がみられることから、国際交流事業を増やす一策として、定住外国人が増加し今後も増加が見込まれることを鑑み、定住外国人の日本語学習を支える人材を確保するとともに、養成する必要がある。
遅れている	

成果指標達成度	A				
	B				
	C	☆			
	D				
		④	③	②	①
		政策に対する施策の達成度			

5 政策を構成する施策一覧

	施策名	自主的学習の推進	施策の成果指標の 達成状況	H29	C	H30	D
1		<p>【課題】 生涯学習支援事業は、「生涯学習講師新規登録者数」及び「まなび学園祭を見て、生涯学習に取り組んでみたいと思う人の割合」を増やす工夫を施すことが必要である。</p> <p>【今後の方向性】 ・「生涯学習講師新規登録者数」を増やすために、自分の特技を生かして、受講者でありながら、シニア大学内で指導する方もあり、そのような協力者の方に指導経験を積み上げていただき、指導者として自信をつけていただくなどの取り組みを行って、新規登録者の増加につなげる。また、花巻まなびガイドに、例えば「生涯学習講師をやってみよう」と思っている方は、気軽にご相談ください。」等の告知欄を設けて新規開拓を行う。 ・「まなび学園祭を見て、生涯学習に取り組んでみたいと思う人の割合」を増やすために、従前は学習成果として作品等の展示と生涯学習団体の紹介が主であったものを、生涯学習団体による参加型イベントを増やすようにして興味を持たせるようにする。併せて、シニア層を中心とした参加者が多かったが、青少年アートセミナーの作品も出展させるなど、青少年や親子の参加を促す。</p>					
2		<p>【課題】 地域で行われている行事やボランティア活動に、青少年が参加できるよう、コミュニティ会議と連携した事業が必要である。</p> <p>【今後の方向性】 生涯学習講座開催事業の中で展開している「地域生涯学習事業支援」の一環で、コミュニティ会議と連携して青少年が参加しやすい事業企画を展開する。</p>					
3		<p>【課題】 出入国管理法の改正（在留資格の拡大）などにより、花巻市に定住する外国人の数が急増している。日本語学習を支援するボランティアが不足していることから、定住外国人の日本語学習を支える人材を確保するとともに、要請する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 ・H29年度、H30年度に引き続き、定住外国人の支援のため、外国人生活支援ボランティア養成講座を開講し、定住外国人支援に関心のある市民の発掘と、日本語学習ボランティアグループへの勧誘を図る。 ・日本語教師資格保持者や、元教員等、日本語学習支援適任者を広報紙やHPを通じて協力を求め、教育現場や外国人労働者受け入れ企業などからの要請に対応していく。</p>					C